

前回会議での主な意見

【学校規模適正化等の検討に当たっての条件等について】

- ・前回会議において、既存の学校施設の活用を前提として検討を行っていくということであったが、そのような制約を前提として検討を行ったということを示しておくことが必要ではないか。

【学校規模・学校配置の基準について】

- ・適正規模や適正配置の検討に当たっては、国の基準がベースになってくるのではないかと。他市の状況も見ながら国の基準をベースとしつつ、検討していけばいいと思う。
- ・教育現場として先生方が小規模校の何が問題点と考えているのかを把握しておくことが必要ではないか。
- ・中学校としては、1学年4クラス全12クラスが一番やりやすい。学校全体としても、活動に当たっては、1学年4～5クラスが適正であると思う。
- ・中学校は特にクラス数が少ないと部活動に影響が出る。子どもたちが活動しやすいような形にしていく必要がある。
- ・児童生徒数が減少していく中で、一定の規模を維持しつつ、活発な学校活動を維持していくためにも、適切な学校規模は必要になってくるのではないかと。

【検討に当たっての視点】

- ・すべての条件を満たす学校は無いと思うので、市全体として大部分を満たしていることが、学校規模の適正化を考える上で大切ではないか。